

～ 愛媛大学生の皆様へ ～

今回、COC連携自治体である新居浜市と協力し、『水素社会実現を目指して』をテーマに、公開講座を開催します。
講演では、水素社会を目指して進めているトヨタ自動車の燃料電池自動車の開発と取り組みについて、愛媛大学からはサステナブルエネルギーPJ、液中プラズマによる廃油からの水素製造方法について、新居浜工業高等学校からは文部大臣賞を受賞した廃棄シリコンからの水素製造法など水素社会に向けた取り組みについてお話し頂きます。

「燃料電池自動車の開発意義と水素社会実現に向けた取り組み」

トヨタ自動車 技術統括部 主幹 三谷 和久 様

「愛媛大学 サステナブルエネルギープロジェクト

～再生エネルギーと水素を利用したスマートコミュニティ～」

愛媛大学大学院 理工学研究科 教授 森脇 亮 氏

「液中プラズマが開く水素社会

～廃油から水素を、そして水素で自動車を走らせよう～」

愛媛大学大学院 理工学研究科 教授 野村 信福 氏

「廃棄シリコンを用いた新たな水素製造法の開発」(H27年 高校化学グランドコンテスト 文部大臣賞受賞)

新居浜工業高等学校 生物応用化学 3年 加地 眞子さん、真鍋 緑さん

これに併せて新居浜市を更に良く知るため、住友発祥の地 別子銅山を守り発展させた広瀬宰平の広瀬歴史記念館と新居浜市の総合文化施設である「あかがねミュージアム」を見学いたします。またミュージアムにはトヨタの燃料電池自動車「MIRAI」を展示しています。現地へは城北キャンパスから大型バス(1台)で移動します。

参加費は無料です。(ただし昼食は自己負担)

◆◆◆ スケジュール (平成28年1月31日(日)) ◆◆◆ ※参加費無料

7:50	愛媛大学城北キャンパス 正門前集合
8:00	愛媛大学城北キャンパス 出発
9:30	広瀬歴史記念館 着・見学
11:00	広瀬歴史記念館 発
11:20	あかがねミュージアム着・見学
12:10	昼食 (あかがねミュージアムに弁当を取ります)
12:30	公開講座 受付
13:00	公開講座 開始
16:00	公開講座 終了
16:10	あかがねミュージアム発
17:40	愛媛大学城北キャンパス 到着、解散

<参加申込み> 【定員50名(先着順)】【愛媛大学COC事務局(社会連携推進機構内 宛て)】

e-mail: coc@stu.ehime-u.ac.jp / fax:089-927-880020 / tel:089-927-8964

※1月22日(金)迄に、メールまたはFAXでお申し込みください。

ふりがな	学部	電話番号/携帯番号	Eメールアドレス
お名前	学科		

広瀬歴史記念館



幕末・明治の動乱期に、政府による接収や住友の経営難による売却から別子銅山をまもり、その開発の近代化を推進した広瀬幸平。彼はまた、わが国の産業の育成にも力を注ぎ国家の発展に貢献しました。

この記念館は、幸平の足跡を通して新居浜の生い立ちと日本の近代産業の歩みをたどる施設です。

なお、広瀬幸平の生涯を描いた新春スペシャルドラマ「百年の計、我にあり」が、1月3日(日)12時～TBS系で放映されます。これを見ていただければ広瀬歴史記念館の事がよく分かりますので、是非ご覧ください。



展示室入口にある現代の望煙楼と称した象徴空間では、南北に赤石連峰と燧灘の眺望を満喫することができます。

そして、別子鉱山鉄道の切通を再現したジオラマを抜けると、幸平の人生がいくつかのテーマ毎に映像や実物資料、パネルを用いて紹介されています。叔父に伴われ9歳にして初めて別子銅山に赴いて以来、その経営維持に奔走し、採鉱・製錬や陸運の近代化を推進するなど、わが国殖産興業に尽力した幸平の姿がここに 있습니다。



母屋は明治10年に、新座敷と庭園は明治22年に建築・造園され、母屋二階の望煙楼と名付けられた部屋からは新居浜市を一望することができます。

邸宅は伝統的な日本建築様式を持ちながらも開国により西洋から輸入されたマントルピース、洋式便器、板ガラス、避雷針といった新しい文化が取り入れられており、そのふたつが見事に調和しています。

そこに、西洋の進んだ技術により別子銅山を近代化した広瀬幸平の「遠大なる計画」と「進取の気性」の思いを垣間見ることができます。

旧広瀬邸は、「別子銅山を支えた実業家の先駆的な近代和風住宅」として、平成15年に国の重要文化財に指定されました。

新居浜市総合文化施設・美術館 あかがねミュージアム



あかがねミュージアム



太鼓台ミュージアム



シアター



いはいまギャラリー



展示室



市民ギャラリー